

## 市の本年度の指導の重点

- ◎ 学ぶ楽しさを実感し、真理を求め、学び続けるための「確かな学力」を育む教育の推進
- ◎ 命の尊さやふるさとの大切さを自覚し、共に生きるための「豊かな心」を育む教育の推進
- ◎ 体を動かす楽しさを体感し、たくましく生きるための「健やかな体」を育む教育の推進

## 三教研の研究テーマ（第16期）

仲間とかかわりながら、よりよい社会づくりへの参画をめざす社会科の授業

## 教育課程のねらい

- ・豊かな心をもち、たくましく生きる人間の育成
- ・自ら学ぶ意欲と社会の変化に主体的に対応できる能力の育成
- ・基礎的・基本的な内容を重視し、個性を生かす教育の充実
- ・国際理解を深め、わが国の文化と伝統を尊重する態度の育成

## 研究主題

「仲間とかかわりながら、よりよい社会づくりへの参画をめざす社会科の授業」（2年目）

### ◆『仲間とかかわりながら』

ここでいう「仲間」とは、共に学びあう学級の子どもたちだけでなく、学びを通してかかわる人たちもすべて含めたものを意味する。よりよい社会づくりへの参画のためには、仲間とかかわりあうことが礎となるべきであると考え、そのために、

- ・追究において、学級の「仲間」とともに様々な人・もの・こととかかわりながら、仲間と考えを認め合い、高め合う場を重ねていくことで、協働して考えを深める子どもの姿を求める。
- ・学習の対象となるすべての人とかかわりを深め、「仲間」として意識することで、問題に対する切実感を高め、協働してより高い次元の学びへと導く。

### ◆『よりよい社会づくり』…『よりよい社会』とは、そこにかかわる人にとって、幸せを感じられる社会（持続可能な社会）である。よりよい社会づくりのために、

- ・目の前やこれから起こりうる問題を解決するために、様々な方法で追究し、仲間と互いに協働する中で、自分の考えを深め、問題の解決に迫る子どもの姿を求める。
- ・自分の考えと仲間の考えのよさをそれぞれ生かしながら、よりよい解決をめざす子どもの姿を求める。

→問題の解決が見えた先にあるのが『よりよい社会』である。

### ◆『参画をめざす』…『よりよい社会づくり』へ「参画する」という行動化だけをめざすのではなく、行動化への意識や意欲を高めたり、きっかけを作ったりする「参画していこうとする」姿や、社会とかかわりに「思いをはせる」姿もめざす。そのため求められる資質や能力は、

- ・資質…確かな社会認識、価値判断、行動力
- ・能力…コミュニケーション能力

→こうした資質や能力を培うことで、変化の大きい今日の社会において、現在だけでなく、未来においても、子どもが主体的に社会にかかわる姿勢、つまり、『参画をめざす』姿が見られるようになることを考える。

## 【本年度の重点】

「仲間と出会い、かかわりあうことを通して、よりよい社会づくりとはどのようなものかを考える姿の実現」

子どもが、国内外や自分の住む地域に山積する課題に目を向け、仲間とかかわりの中で、より多くの人々が幸せになれる社会づくり（持続可能な社会づくり）とはどのような姿であるか考えようとする社会科の授業を実現したい。その上で、よりよい社会をつくっていくためには何が必要かを仲間とかかわりの中で考え、自ら判断し、参画へつなげようとする姿を社会科の授業で実現したい。

その基礎となるのは確かな社会認識力である。より多くの人々が幸せになれる社会をつくるためには、社会の現実を見極める力が必要であり、多角的な思考によって、より高度な社会認識力を養わなくてはならない。そのために、追究する過程において、多様な立場の人や資料に出会い、多角的な事実認識を獲得する必要がある。そのうえで、かかわりあう場において、子どもが自分の思いや考えを率直に述べ合うことで、対立から合意への転換を意図し、友達の考えのよさに共感したり、そのよさを自分の考えに取り入れて、より深まった考えをもったりすることを目指したい。そして、よりよい社会づくりの実現のために自分にできることを多角的な社会認識を基に考え、参画しようとする姿を求めていきたい。

- ◎ より多角的な社会認識に至るために、単元構成（学校外の仲間と出会う段階や学校の仲間とかかわらせる場面の設定）の工夫をしたり、子供の意識の変容を見通して適切に支援したりして、積極的な社会参画をめざす姿に繋いでいきたい。